

参考資料（アクセシビリティ）

広報向けコンテンツチェックリスト

References (Accessibility)

Content Checklist for Public Relations

2025 年 (令和 7 年) 10 月 16 日

技術検討会議サービスデザインタスクフォース

広報向けコンテンツチェックリスト(アクセシビリティ)とは

このチェックリストは、作成したコンテンツのアクセシビリティを簡易的に評価するために作成したものです。JIS X 8341-3:2016 及び WCAG 2.2 を網羅するものではありませんが、広報コンテンツを作成した際のファーストチェックとして用いたり、定期的な簡易評価ツールとして活用したりすることができます。

なお、このチェックリストは簡易的な評価のためのリストのため、ウェブアクセシビリティの試験の内容とは異なります。調達仕様や要件定義に記載すべき表現については、「DS-672.1 ウェブアクセシビリティ広報向けガイドブック」[2.6 ウェブサイトを用いた広報の調達] 等を参考にしてください。

1 共通チェック項目 2

1.1	点滅するコンテンツを置かない	2
1.2	自動再生するアニメーションや移動するコンテンツを置かない	2
1.3	タイトル(title要素)には、ページの主題を反映する	2
1.4	h1要素には、ページの主題を反映する	2
1.5	見出しには、h1～h6要素、箇条書きには、ul・ol要素を用いる	3
1.6	すべてのリンクやボタンがキーボードでも操作できる	3
1.7	すべてのリンクやボタンでキーボードフォーカスが見えている	3
1.8	何らかの情報を伝えている画像には、代替テキストを設定する	4
1.9	背景色と文字色には、4.5:1のコントラスト比を確保する	4
1.10	色の違いだけで、情報を区別しない	4

2 動画コンテンツ向け追加チェック項目 5

2.1	動画内の音声に対して、キャプション(字幕)を付ける	5
2.2	動画内の視覚的情報の代替情報を設ける	5

3 入力フォームを含むコンテンツ向け追加チェック項目 6

3.1	何を入力する欄なのかをテキストで明示する	6
3.2	必須入力項目には、それぞれに「※必須」と記す	6

1

共通チェック項目

1.1 点滅するコンテンツを置かない

満たすべきこと：1秒に3回を超える点滅するコンテンツを作らないでください

光の点滅を繰り返すと、光感受性発作等を誘発しやすくなります。1秒に3回を超える点滅するコンテンツを作ってはいけません。

1.2 自動再生するアニメーションや移動するコンテンツを置かない

満たすべきこと：スライドショーや自動で切り替わるコンテンツは避けてください

スライドショーや自動で切り替わるコンテンツなどがある場合は、一時停止、非表示、停止の機能を設置する必要があります。画面上に動き続けるコンテンツがあると、他の箇所の操作や閲覧を妨げられる利用者がいるためです。

1.3 タイトル（title要素）には、ページの主題を反映する

満たすべきこと：ページの主題や内容を簡潔に表すタイトルをつけてください

タイトルは、ページの主題・内容を簡潔に表現した文字列を設定しましょう。

類似するページが複数ある場合には、タイトルが重複しないように心がけてください。

1.4 h1要素には、ページの主題を反映する

満たすべきこと：ページの主題や内容を簡潔に表すh1見出しをつけてください

ページの大見出しあはh1要素で記述し、ページの主題・内容を簡潔に表現した文字列を設定しましょう。

[[チェック3](#)] と合わせて考えると、ページのタイトルにはh1見出しが含まれることになります。

1.5

見出しには、h1～h6要素、箇条書きには、ul・ol要素を用いる

満たすべきこと：見た目だけではなく、適切な要素で文書構造を記してください

文字の大きさだけで見出しを表現したり、先頭に記号を付けることで箇条書きのように表現したりすることは避けてください。

見出しであれば、見出しレベルに応じてh1～h6の各要素を用い、箇条書きの場合には種類に応じて、ol要素（順序付きリスト）、ul要素（順不同リスト）を使い分けてください。

1.6

すべてのリンクやボタンがキーボードでも操作できる

満たすべきこと：マウスがなくてもすべての機能が使えることを確認してください

マウス操作をしなくても、キーボードだけですべてのリンクやボタンが操作できるようにしてください。また、キーボードで操作した際、フォーカス・入力した瞬間に画面遷移したりすることがないようにしましょう。

1.7

すべてのリンクやボタンでキーボードフォーカスが見えている

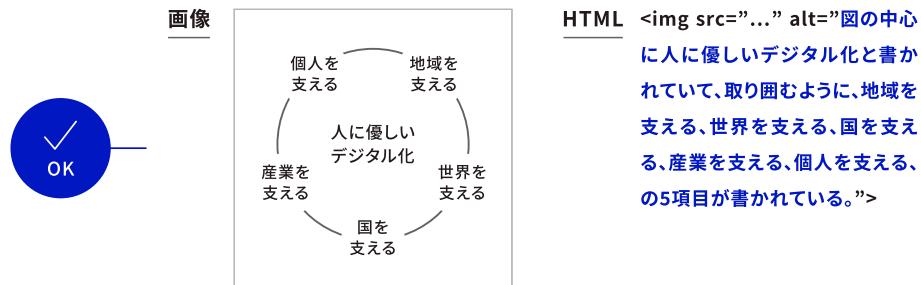
満たすべきこと：どこが選択されているかが常に見えるようにしてください

キーボードで操作した際、操作対象として選択されている箇所が見えるようにしてください。「デジタル庁デザインシステム」（デジタル庁）のフォーカスインジケーターを適用することで実現できます。

1.8

何らかの情報を伝えている画像には、代替テキストを設定する

満たすべきこと：画像を用いる際には、適切な代替テキストを設定してください



図checklist.1 alt属性で代替テキストを指定し、図表を文章で説明

画像を用いる際には、画像内に記されている情報と同等の役割を果たすテキスト（これを代替テキストと言います）を設定してください。

画像内に多くの複雑な情報が描かれている場合には、代替テキストのみに依らず、本文として表現することも検討してください。

1.9

背景色と文字色には、4.5:1のコントラスト比を確保する

満たすべきこと：背景色と文字色には、十分な差を設けてください

何も情報を伝えていない文字やロゴタイプを除き、背景色と文字色との間のコントラストを十分確保してください。確保すべきコントラスト比は4.5:1以上です。

また、アイコンだけで表現されたボタンや図表など文字以外の部分でも、3:1以上のコントラストを確保してください。

「デジタル庁デザインシステム」（デジタル庁）ではスタイル「カラー」において、必要なコントラスト比を保つために利用可能な色が例示されています。

1.10

色の違いだけで、情報を区別しない

満たすべきこと：色の違いがわからなくても、情報が理解できるようにしてください

何らかの情報を色の違い「だけ」で区別しないようにしてください。

色を使うこと自体は問題ありませんが、形状やパターンに違いを設けたり、テキストで説明したりと、色以外でも違いを表現する必要があります。

2

動画コンテンツ向け追加チェック項目

2.1

動画内の音声に対して、キャプション(字幕)を付ける

満たすべきこと：動画内の会話や効果音に対して、適切な字幕を付けてください



図checklist.2 映像や音声にはキャプション(字幕)をつける

動画内で発せられる音声に対して、字幕を付けるようにしてください。音声には発話された内容だけでなく、発話者に関する情報や意味のある効果音を含める必要があります。

字幕を付けるには、動画に字幕を埋め込む方法や字幕用のテキストを添付する方法があります。公開時に用いるツールの仕様などに応じて選択すると良いでしょう。

2.2

動画内の視覚的情報の代替情報を設ける

満たすべきこと：動画内の視覚的な情報（情景、登場人物や場面の変化など）に対して、音声解説などを付けてください

動画内に視覚的な情報に対する音声解説、もしくは動画内のすべての情報を含んだテキスト情報を代替情報として提供してください。

代替情報を提供すべき情報には、例えば以下が含まれます。

- 情景（場所、天候や明るさ、雰囲気、実写 or アニメなど）
- 登場人物（人数、配置、服装や持ち物、身振り、表情など）
- 場面の変化（シーンの転換、被写体の変化など）
- 画面上に提示される文字

3

入力フォームを含むコンテンツ向け追加チェック項目

3.1

何を入力する欄なのかをテキストで明示する

満たすべきこと：すべての入力欄には、その直前に入力すべき内容を示してください



図checklist.3 NG例は各フォームコントロールにラベルが無く、文字を入力すると項目を見分けにくい。また、全角、半角文字の指定や、字数制限について書かれておらず、エラーになる前に気づけない

入力フォームにあるすべての入力欄には、入力すべき内容を各入力欄の直前にテキストで明示してください。その際、入力形式(全角・半角など)、文字数、使用できる文字の制限などでエラーが起きる場合には、入力前に説明するようにしてください。

3.2

必須入力項目には、それぞれに「※必須」と記す

満たすべきこと：必須入力項目のすべてに「※必須」の文字を記してください

入力フォームに入力必須項目がある場合には、すべての入力必須項目に個別に「※必須」の文字を記してください。

その際、異なるテキスト色を用いることは問題ありませんが、[チェック1.9]で示した4.5:1以上のコントラスト比を確保してください。